

弱溶剤高級シリコン樹脂シルバー塗料

EXTRA SILVER

EXTRAシルバー

用途

建築物の鉄部、
トタン屋根などの新設及び塗り替え

※上記以外の用途に使用される場合は
弊社にお問い合わせ下さい。

容量

15kgセット

色相

シルバー

高意匠性

美しい金属光沢調の外観が得られます。

高耐候性

高い耐候性を持ち、光沢を長期的に持続します。

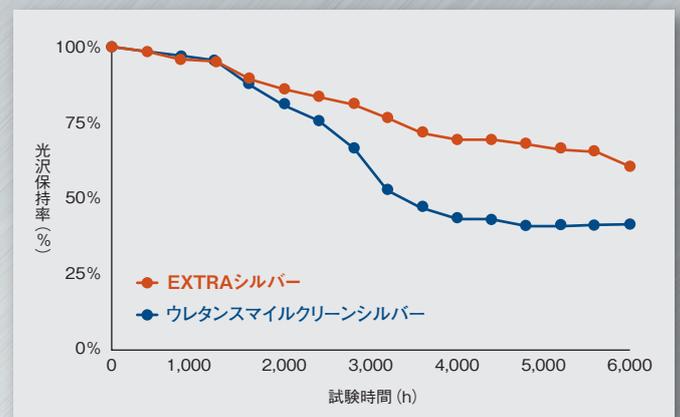
優れた作業性

刷毛、ローラー塗装性がよく、きれいに仕上がります。

幅広い用途

金属屋根面、一般鉄部など、幅広い箇所に適用できます。

促進耐候性 (キセノンランプ法)



塗料性状^{*1}

項目	内容			
容姿	2液性			
荷姿	15kg(主剤13.5kg・硬化剤1.5kg)			
色相	シルバー			
光沢	—			
密度(23℃)	塗料	0.96±0.03		
	揮発分	0.80		
加熱残分	46~50%			
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃
	指触	2時間	1時間	20分
	半硬化	8時間	2時間	40分
標準膜厚	15μm/回			
引火点	SDS参照			
発火点	SDS参照			
発限界(下限~上限)	SDS参照			

塗装基準

項目	内容				
下地処理	素材表面の油分、汚れ、埃などを除去し乾燥した清浄な面とする。				
調合法	主剤9部:硬化剤1部(混合比)				
熟成時間	—				
可使用時間	5℃:16時間	20℃:8時間	30℃:4時間		
塗装方法	刷毛・ローラー・スプレー				
希釈剤	塗料用シンナー				
塗装法	塗装方法	刷毛・ローラー		エアレス ^{*2}	
	希釈率	5~10%		10~20%	
	標準使用量 ^{*3}	0.10kg/m ² /回		0.12kg/m ² /回	
	標準膜厚	15μm/回			
	ウエット管理膜厚	—			
塗装間隔	温度	5℃	20℃	30℃	
	最小	4時間	2時間	1.5時間	
	最大	7日	7日	7日	

関連法規

項目	内容
危険物表示	主剤:硬化剤:第2石油類
有機溶剤区分	主剤:第2種有機溶剤含有物
	硬化剤:第3種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照
劇物表示	—

- ※1 上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。
 ※2 エアスプレーの場合は、エアレス希釈率より5~10%増やして下さい。
 ※3 標準使用量は実測値に基づき算出しています。また被塗物の形状などにより標準使用量は変動します。

標準塗装仕様

①鉄部・トタン屋根(新設及び塗り替え)

工程	商品名	色相	混合比率(重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗り回数(回)	標準使用量(kg/m ² /回)	塗装間隔(20℃)
新設	素地ごしえ	ワイヤブラシ・サンドペーパーなどを用いて、有害な付着物を除去する。						
塗り替え	下地調整	強く付着している旧塗膜は残り、白さびや浮き塗膜は高圧洗浄機又はディスクサンダーやワイヤブラシ、サンドペーパーなどで完全に除去する。ごみ・埃はウエスなどで拭き取り清浄な面とする。						
	補修塗り	サビシャット [*]	乳褐色	主剤 10部 硬化剤 2部	無希釈	刷毛・ローラー	1	0.10
下塗り	EXTRAエポプライマーUNI 又は EXTRAエポプライマー二液	赤さび色、ブラック、 グレー、ホワイト、ブルー	—	5~10	刷毛・ローラー	1	0.13	2時間以上 30日以内
			—	5~15	エアレス		0.17	
上塗り	EXTRAシルバー	シルバー	主剤 90部 硬化剤 10部	5~10	刷毛・ローラー	1	0.17	16時間以上 14日以内
			主剤 90部 硬化剤 10部	5~15	エアレス		0.22	
上塗り	EXTRAシルバー	シルバー	主剤 90部 硬化剤 10部	5~10	刷毛・ローラー	2	0.10	2時間以上 7日以内
			主剤 90部 硬化剤 10部	5~15	エアレス		0.12	

※サビシャットは発錆部に使用する素地調整軽減剤です。さび落としが困難な箇所に浸透させるように塗装して下さい。

②ガルバリウム鋼板・亜鉛めっき面などの非鉄金属部(新設及び塗り替え)

工程	商品名	色相	混合比率(重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗り回数(回)	標準使用量(kg/m ² /回)	塗装間隔(20℃)
新設	素地ごしえ	ワイヤブラシ・サンドペーパーなどを用いて、有害な付着物を除去する。						
塗り替え	下地調整	強く付着している旧塗膜は残り、白さびや浮き塗膜は高圧洗浄機又はディスクサンダーやワイヤブラシ、サンドペーパーなどで完全に除去する。ごみ・埃はウエスなどで拭き取り清浄な面とする。						
下塗り	エポティ	グレー、ライトグレー Dホワイト	主剤 90部 硬化剤 10部	0~10 0~10	刷毛・ローラー エアレス	1	0.20 0.26	8時間以上 30日以内
上塗り	EXTRAシルバー	シルバー	主剤 90部 硬化剤 10部	5~10 5~15	刷毛・ローラー エアレス		2	

塗装仕様に関する注意

- さびは、ワイヤブラシや電動工具などで除去して下さい。
- カラートタンの最初の塗り替えの場合は、必ずペーパーで目荒らしをして下さい。
- 板温が低い場合、塗装間隔を十分に取って下さい。
- 波型トタンの山部分やトタン板の継目、折り曲げ部分は膜厚が薄くなりがちです。先に拾い塗りをすると、より長持ちします。
- 積雪の荷重を最も受けやすい軒先の部分、瓦棟の凸部には、こすり付けるように増し塗りを行うと、より長持ちします。

施工上の注意

- 塗料は使用前に十分に攪拌し、均一な状態にしてから塗装して下さい。
- EXTRAシルバーは、主剤と硬化剤を混合して使用する二液型塗料です。混合比率、可使用時間などはカタログ・単品説明書(DK SYSTEM)を参照し、正しく使用して下さい。
- 本塗料はアルミを使用しており、塗装方法(方向)の違いなどにより、アルミの見え方が異なり、仕上がり不良になる恐れがあります。
- チョーキング面は、高圧洗浄(15MPa(150kg/cm²)以上)を入念に行い、劣化塗膜や粉化物を除去して下さい。
- 旧塗膜の浮きや有害な付着物は、高圧洗浄機やディスクサンダー・ワイヤブラシなどで完全に除去して下さい。
- 油・ワックスなどが付着している場合は、ハンキや付着不良の原因となりますので、完全に除去して下さい。
- 塗装場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上で結露の恐れがある場合、塗装を避けて下さい。
- 低温・多湿時に塗装し、未乾燥状態で夜露などに当たると、艶引けを起こす場合があります。特に春先や秋季のように昼と夜の温度差が激しい時期には、結露によるつや引け現象が起こりやすいため、夕刻以降の塗装は避けて下さい。
- 降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時には塗装を避けて下さい。
- 飛散防止のための養生は十分に行って下さい。
- 膜厚が極端に薄い場合、早期欠陥の原因になります。また、塗膜性能を確保するためにも、必ず標準使用量を守って下さい。
- 塗料の希釈は専用の希釈剤で行って下さい。また薄めすぎは、隠ぺい力不足・仕上がり不良などを起こしますので、規定の希釈率で希釈を行って下さい。
- 塗り重ねは既定の塗装間隔を守って下さい。
- 旧塗膜の種類や劣化状態によっては、溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し、ちぢみや再溶解などの異常が発生することがありますので、試験塗装を行ってから、本施工に入って下さい。

使用上の注意

引火性の液体で、危険有害性情報のある物質を含有していますので、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。 ※詳細な内容は、各製品の安全データシート(SDS)をご参照下さい。

●取扱い上の注意

- 火気のない局所排気装置を設けたところで使用して下さい。
- 塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
- 取扱い中は、皮ふにふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護メガネ、長袖の作業衣、入り巻きタオル、保護手袋等。
- 取扱後は、手洗い及びうがいを行って下さい。
- 塗料の付いたウエスや塗料カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
- よくフタをし、40℃以下の一定の場所に貯蔵して下さい。
- 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
- 本来の用途以外に使用しないで下さい。
- 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取手が外れ、落下事故の危険があります。

●緊急時の処置

- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
- 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 皮ふに付着した時には、多量の水で洗い落とし、痛みや皮ふに変化等がある場合には、医師の診察を受けて下さい。
- 蒸気、ガス等を吸込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- 容器からこぼれた時には、布で拭きとり、その布を水の入った容器に保管して下さい。

※本データは、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。
 記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。
 ※本製品の内容は予告なく変更することがあります。
 ※本データに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。

DNT 大日本塗料株式会社

- 大阪営業所 ☎06-6266-3116 ☎542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11 (SRビル長堀)
- 東京営業所 ☎03-5710-4501 ☎144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23 (TOKYU REIT 蒲田ビル)
- 札幌営業所 ☎011-822-1661 ☎003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1
- 仙台営業所 ☎022-288-8866 ☎984-0011 仙台市若林区六丁の目西町8-1 (齋喜センタービル)
- 名古屋営業所 ☎052-332-1701 ☎460-0022 名古屋市中区金山1-12-14 (金山総合ビル)
- 広島営業所 ☎082-286-2811 ☎732-0802 広島市南区大州3-4-1
- 福岡営業所 ☎092-938-8222 ☎811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5

塗料相談室 フリーコール 0120-98-1716 <https://www.dnt.co.jp/>